



ヒューマニティーズセンター 第2回オープンセミナー

～近代「美人」言説における小野小町～

- ▶ 2018年10月12日（金）17:00 - 19:00
- ▶ 東京大学東洋文化研究所 第一会議室
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

報告者

永井久美子（総合文化研究科・准教授）
ディスカッサント
林香里（情報学環・教授）

【概要】

小野小町を「世界三大美人」の一人に数える言説は、明治末期から大正期の日本で生み出されたようである。小町の伝説は、早くは院政期の説話集に認められるが、近代においては、西洋・東洋の各文化圏に対抗しうる、日本を代表する「美人」としての小町像が新たに形成されることとなった。多くの女性の中でも、特に小町が取り上げられるようになった主な要因は、彼女が王朝時代の歌人であったことに求められそうである。やまとことばを操る小町に、理想とする日本の女性像を求めた明治～大正期の気運を、婦人雑誌の分析等から考察する。

問合先：東京大学ヒューマニティーズセンター事務局

Tel: 03-5841-2654

E-mail: humanitiescenter.utokyo@gmail.com

URL: <http://hmc.u-tokyo.ac.jp/ja/>



小野小町（『前賢故実』菊池容斎画、明治時代）